

# 校長室だより



第8号

令和2年6月8日

校長 齋藤 瑞穂

やっと学校が再開したと思ったら、もうすぐ梅雨の季節です。休校期間中もずっと室内、学校が始まって外で遊べない・・・がっかりしている人も多いでしょう。でも、こればかりは、日本に暮らしている以上、仕方のないことです。それに、この時期の雨は、農作物の生育には欠かせない「恵みの雨」です。おいしいお米も野菜も、この時期の雨のおかげとあって、グッと我慢です。

## 6月は杉並区子ども読書月間です。

さて、室内で過ごす時間が多くなる6月を、杉並区では「子ども読書月間」としています。毎年のことなので、2年生以上のおみなさんにはおなじみですね。校長室だより第2号でおすすめした「宇宙人のいる教室」、ずいぶん前に発行された本だったから、手に入りにくかったようです。探してくれたのに見つからなかった人、ごめんなさい。それでも読んでくれた人が何人かいたと聞いて、うれしかったです。ぜひ感想を聞かせてください。

今回は、絵本を紹介します。

### このよで いちばん はやいののは

原作 ロバート・フローマン

翻案 天野 祐吉 絵 あべ 弘士



表紙にのっているのは「うさぎ」と「かめ」です。どちらが速いかと言えば、「うさぎ」でしょう。では、「このよでいちばんはやいののは」？

火曜日の始めの会で読むので、それまでどんなお話か、想像をふくらませて待っていてください。

## あじさい 紫陽花がきれいです。

梅雨入りを間近に、ムシムシした体感の日が続きます。空も曇りがちで、「なんとなく気持ちが晴れないなあ・・・」という人も多いのではないのでしょうか。この時期、そんな気持ちをなくさめてくれるのが紫陽花（あじさい）の花。校長室には、主事さんが活けてくださった、爽やかなブルーの杉七小の紫陽花が咲いています。

紫陽花は日本原産ですが、観賞用にヨーロッパやアメリカなどでも栽培されるようになったことで多くの品種が作り出され、種類が大変豊富になりました。最近では、母の日や父の日のプレゼントにも人気なのとか。杉七小の紫陽花も二種類あり、一つは日本の古来の額咲きの「ガクアジサイ」、もう一つは手まり咲きの「アジサイ」。それぞれに美しいですね。



ところで、紫陽花のきれいに色づいた花びらに見えるところ、これは実は花びらではないことを知っていますか？「花びらでないなら、いったい何なの??」と思った人は、ぜひ調べてみてください。

### 保護者の皆様

学校が再開し、1週間経ちました。1日2時間の授業、2部制の分散登校という形でしたが、ほとんどの子供たちは実にいきいきと、楽しそうに過ごしていました。そんな様子を見るにつけ、子供たちにとって学校という場がいかに大切なものであるかと改めて思います。放課後遊びでは、やむを得ず遊具やボールの使用を禁じていますが、それでも友達と芝生の上を駆け回り、寝転がってにこにこしている子供たちの姿はとても幸せそうでした。

しかし、中には、急に始まった学校生活に体も心もついていけず、ストレスを溜めている子もいるかと思っています。大人は、「子供は学校が好きなのだ」と思いがちですが、決してそうとは限らないことも忘れないようにしたいものです。「だいたい好きだけど、時にはすごく嫌になることもある」というのが子供たちです。そんな様子が見られたら、気持ちに寄り添ってゆっくり話を聞いてあげてください。